



地域新聞 ひまわり

社会福祉法人ひまわりっこ
小規模保育園ひまわりっこ
長岡京市一文橋2丁目34-9
075-952-4177 NO.74
shokibohimawarikko@yahoo.co.jp



2019年度 4月1日 入園式をおこないました!

こんにちは、小規模保育園ひまわりっこです。日頃は子どもたちの成長を暖かく見守って頂き有難うございます。

今年の春は運咲きのさくらとなり、長い間楽しむことが出来ました。その反面気温が上がったり、下がったりと今年の気候はどうなるのかということもチラッと頭をよぎりましたが、四季折々の気候を楽しみにしたいと思います。

お陰様で、4月1日には〔社会福祉法人ひまわりっこ〕として2回目の入園式を迎えることが出来ました。0歳、1歳、2歳と小さいお子さんの入園式で、正に社会への第一歩です。ご家族、ご親族、私たち職員の期待を一身に受けていた子どもたちでしたが、複雑な心境だったのは保護者の方々だったのではと思います。皆様のそんな思いを、真摯に受け止め今年度の保育もしっかり行っていかなくてはと、身の引き締まる思いでした。そして2日から慣し保育が始まり、少しずつ新しい生活に慣れつつある子どもたちです。これから過ごしやすい季節です、色々な経験を通して健康な身体づくりに繋がればと思います。

これまでひまわりは長岡京市で、無認可から40年以上保育を行ってきました。子どもたちの成長発達を第一に考え、又、保護者の方々にも安心して預けられる保育園、そして保育者にとっても働き易い職場をと言う願いのもと長い間続けてきました。より良い保育を行っていくためには何が大切か、何が重要かということはしっかり学習することも大切だと考えています。「ひまわり保育園をつくる会」とともに色々なことに取り組んでいきたいと思っています。これからも地域のお役にたてるよう、頑張っていこうと思います。これからもご支援ご協力、宜しくお願いいたします。

つくる会よりお知らせ



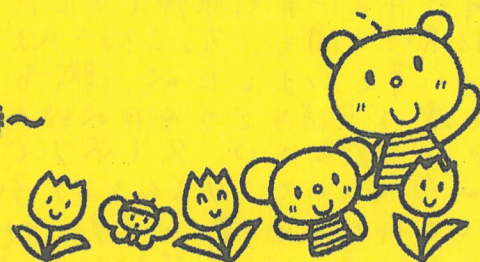
ひまわりフェスティバル

のお知らせ

5月19日(日)10時~

野添公園にて

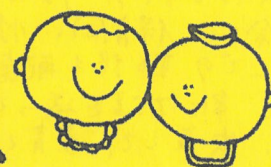
バザー用品受付です



保育士募集

「小規模保育園 ひまわりっこ」で一緒に働いてみませんか?

- ・保育士資格をお持ちの方
- ・乳児とかかわるお仕事に興味のある方は、



是非ご連絡ください!

連絡先:075-952-4177

うすいえんどう豆の皮むき



今年度初めてのフッキングとして、うすいえんどう豆の皮むきをしました。始めに給食の先生より食材の名前や今からどんな事をするかについてのお話を興味津々で前のめりに聞いて真剣な子どもたち。

そしていざ皮むきが始めると、最初はどうも皮がむけず「できん」「どうやんの?」と苦戦していた子どもたちでしたが、やり方を再度伝えたり、切り込みを入ると、あ、という間にコツを掴み、中の豆を取り出していきます。その豆を見つけた時の子どもたちの目は、とてもキラキラと光輝き、見つけた喜びの気持ちで、こちらにも笑いながら話していました。

皮むきが終わった豆を給食の先生に渡し、目の前で炊飯器の中へ入れる所を見て、豆ご飯として給食で食べるという楽しみの子どもたち。

そしていざ給食の時間!! 皆で皮むきをしたうすいえんどう豆のご飯を食べると「おいしい」「せんせーおいしいな」と満足気な表情の子どもたち。中には豆だけ取って食べる子どもも...。やはり自分達がお手伝いしたご飯は、いつも以上に子どもたちのお腹も心も満たしてくれました。



2017年12月に産休に入り、12月単に出産、今年度4月に産休復帰しました。1年4ヶ月の産休育休の間も、ちょこちょこはまわり、こに遊びに来っていました。職場復帰になるとまた違う気持ちで4月が始まりました。ピア)と弾くのは、久しぶりでしたが、相変わらずいい、リズムとする子どもたちの姿を楽しくみながら弾いてます。でも、自分のからだは動かさないとだるいなと思ったり。息子の保育園入所が決り、職場復帰してからのこと、息子は人見知り場所外りや遠慮して、食べ物でもなにも慣れぬ時間ばかり子どもです。抱っこも母(わたし)以外大泣き。言動が良くなる時は、父、祖母も嬉々とするが、長時間は無理な感じ。なので、保育園に預けることに、父と祖母は心配してはいた。私は、時間はかかるけど大丈夫だろうと思っていたが、もうすぐ泣いたり、全く食べない、寝ない、抱っこも嫌いなこと、息子は徐々に保育園に慣れはじめました。ひまわり、ここの事も配慮して下さる。私も息子も無理なく馴染む話を送っています。結婚して、出産して、子育てしながら働く自分を認めてあげていまして、ひまわりだからこそできていこうと思っています。子どもも保育者も自分らしくいられるこの場所でこれからも楽しく過ごしていきたいと思います。

昨年度から西山天王山馬尺前のひまわり保育園で働き始め、私は0才児の担任を任せてもらっています。日々の子ども一人ひとりの成長はモチベーション、0才児でも食育の一貫で、キャベツやきりや、えのきほし等(行)事にビックリしてはいたが、子どもたちが思っていた以上に、また楽しそうに行う姿を見て、0才児でもこんな事できるんだと勉強になりました。そして自分達で行った食材が給食に出てくると、いつも若手でも中々進まない、たにお返事も美味しそうに食べたりと食育の大切さを改めて感じることができました。そして今年度からは小規模なひまわり共同保育園で働く事になり、早速保育の中で子どもたちと様々な野菜の苗を植えて、当番で水やりをしています。まだまだスタートしたばかりですが、子どもたちと一緒に日々の保育の中で、このような食育をとても大切にしたい、旬の食材に触れる事ができるといい、ひまわりのステキなところだと思います。これから子どもたちと食の大切さを感じながら、毎日の保育と一緒に楽しんでいきたいと思っています。

